

安芸地域アクションプランの 進捗状況確認資料

安 芸 地 域 本 部
令和7年10月29日（水）

安芸地域アクションプランの進捗状況確認資料

R7.10.29

安芸地域本部

1 地域アクションプランの令和7年度上半期の実施状況(総括)

(1)総評

令和7年度は、全20項目のアクションプランごとに実行支援チームを編成し、市町村や事業者と事業推進に向けた協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めている。

また、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、第一次産業の振興に向けた加工体制の整備・強化や販路拡大の取り組みを継続するとともに、道の駅・直販所を核とした地域の活性化に取り組んでいる。

農業分野

地域ぐるみでユズの有機栽培に取り組んでいる馬路村は、昨年4月に高知県第1号となるオーガニックビレッジ宣言を行い、国内外に村を売り出す取り組みを進めている。

林業分野

森の恵みである木材や木製品について、昨年12月に馬路村の木製品がウッドデザイン賞(大阪・関西万博特別賞)を受賞したことをSNS等で情報発信し、国内外への新たな販路拡大を進めている。また、経営コンサルタントの活用等による経営体質の強化に取り組んでいる。

水産業分野

地元漁業や近海まぐろはえ縄漁による水産物(低利用魚を含む)を活用した加工品の製造体制の強化や、商談会への積極的な参加など販売促進に取り組み、高付加価値化及び漁業者の所得向上を図っている。

また、管内の複数の加工事業者において新たな加工場の整備に向けた取り組みを進めるとともに、引き続き高度な衛生管理体制下での地元水産物の加工品製造と販売拡大に取り組んでいる。

商工業分野

道の駅や農産物直販所等において、直販所交流による品揃えの充実及び販路拡大、ECサイトの活用による販売拡大等の取り組みを進めている。

また、観光分野とも密接に連携し、直販所等のさらなる活性化と地域の中心市街地に賑わいと活力を呼び戻すための取り組みを進めている。

安田町では、町外から移住してきた加工事業者が、本年度から事業を開始したことにより、やすだ資源を生かした新商品の製造・販売につながっている。

観光分野

(一社)高知県東部観光協議会を中心に市町村や関係団体、事業者等と連携して、教育旅行等の受入基盤づくりを進めるとともに、周遊促進商品やご当地グルメを組み込んだツアー商品の造成等、地域資源を生かした観光商品化に取り組んでいる。

また、市町村においては、国や県の事業を活用して北川村モネの庭をはじめとした観光資源等の磨き上げやデジタルマップを活用したスタンプラリー等、滞在延長や周遊促進につながる取り組みが進んでいる。特に、開園25周年記念企画を展開しているモネの庭の入園者数が好調を維持しているほか、県東部の主要施設の入込みも概ね前年を上回る傾向となってきた。

(一社)高知県東部観光協議会では、エリア内の資源や魅力をPRするため、県や徳島県と連携した大阪・関西万博等への出展や、SNSでの観光情報の発信など、県内外へのプロモーションを強化することで、交流人口の創出・拡大を図っている。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	R7取り組み状況	【C(Check)】・【A(Action)】					
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況					
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析			
農業	1	「村を売り出す」有機栽培ゆず製品の販路拡大による地域の活性化 (馬路村) 【実施主体】 ・◎馬路村農業協同組合 ・馬路村 全作物の耕地面積に占める有機農業面積の割合が全国1位の81%にのぼる馬路村の有機栽培で育てたゆずを生かした新商品の開発や国内外への販路の拡大により、商品とともに村全体を売り出すことで馬路村ブランドを更に強化し、官民一体となって地域の活性化を図る。	通販売上高				1 有機ゆずを生かした商品開発及び人材確保 ・スイーツ部門の商品開発 ・有機栽培を生かした商品開発 ・既存商品のフラッシュアップ ・村内観光客への特別商品の開発 ・地域おこし協力隊制度を活用した営農作業者の募集 ・馬路村地域づくり事業協同組合を活用した職員の募集 2 有機ゆずの認知度の向上と販路拡大 ・オーガニックビレッジ宣言を生かした情報発信 ・県内外のイベントでのPRの実施【10回】 ・SNS、WEB媒体、雑誌、マスメディアを活用した情報発信 ・海外での展示会への参加【3回】 ・DMMスクラッチくじの実施【4/1～5/6】	1 有機ゆずを生かした商品開発及び人材確保 ・新商品を秋頃の発売に向けて開発中 ・地域おこし協力隊制度を活用した営農作業者を募るために東京で村独自の移住イベント等を行いPRを実施 →相談件数：2件 2 有機ゆずの認知度向上と販路拡大 ・馬路温泉でのオーガニック宿泊プランの実施に向けてオーガニックレストランの視察等を実施(7/7、7/8) →馬路温泉で出す有機ゆずを使ったメニューの試食会を予定 ・認知度の向上のために以下の取り組みを実施 ①県内外のイベントでのPRの実施：4回(6月2回、7月2回) ②海外での展示会への参加：1回(5月) ③DMMスクラッチくじ(馬路村農協のゆず製品が当たるオンラインくじ)の実施(4/1～5/6)	会計年度 1月～12月 8.56億円 (R4)	7.17億円	8.78億円	9億円	3.81億円 (R7.1月～7月) ・R7到達目標達成率：74.4% ・対前年同期比：100.6%	C (成果) ・DMMスクラッチくじに取り組むことによって、くじ購入者への認知度向上につながった。 (課題) ・顧客層の高齢化による将来的な売り上げの減少 ・新規顧客層の開拓 (今後の方向性) ・県内外のイベント等による新規顧客の獲得 ・馬路温泉のオーガニック宿泊プランによる新規顧客層の開拓
			輸出入出荷額						会計年度 1月～12月 1,000万円 (R4)	3,355万円	5,500万円	1億円	- (R8.1月以降に集計・公表)	-
農業	2	東洋町のボンカン加工品の販路拡大と後継者確保による地域振興 (東洋町) 【実施主体】 ・◎(株)フクチャンFARM ・◎東洋町 ・ボンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 東洋町の特産品であるボンカンを活用した加工品の販路拡大を進めるとともに、移住・定住の促進による後継者の確保・育成に取り組むことにより、地域振興を図る。	売上高				1 ボンカン加工品の販路拡大 ・既存商品の磨き上げ ・商談会等への参加 ・プロモーション活動の実施 ・東洋町ボンカン振興対策協議会への参画 ・道の駅東洋町での既存商品のPR【通年】 ・とさのさと、ひろめ市場でのボンカン販売会の開催【1月予定】 2 後継者の確保・育成 ・移住フェア等への参加 ・特定地域づくり事業バツグン協同組合との連携【通年】 ・地域おこし協力隊の受入体制の整備 ・指導者の育成及び増員 ・就農希望者に対する園地承継の支援 ・新規就農者(地域おこし協力隊)の技術支援【通年】	1 ボンカン加工品の販路拡大 ・ボンカン振興対策協議会役員会の実施(7月) ・ボンカン振興対策協議会総会の実施(9月) ・道の駅東洋町での既存商品の販売(通年) ・とさのさと、ひろめ市場でのボンカン販売会の実施を検討 ・ボンカンのアロマオイル商品の開発 →ボンカンのアロマオイルの販売開始(8月) 2 後継者の確保・育成 ・農林漁で働くフェア等への参加 ・特定地域づくり事業バツグン協同組合との連携 ・ボンカン対策協議会youtubeによる第三者承継候補園地の情報発信	会計年度 1月～12月 845万円 (R4)	1,095万円	970万円	1,070万円	145万円 (R7.1月～3月) ・R7到達目標達成率：59.8% ・対前年同期比：84.8%	D (成果) ・ボンカンのアロマオイルの開発・販売開始により、ボンカン加工品が充実した。 (課題) ・予冷庫購入(甲浦の果樹仲間)のための資金不足 (今後の方向性) ・補助金を活用した予冷庫の購入

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	R7取り組み状況	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	3	芸西村の白玉糖を活用した地域活性化 (芸西村) 【実施主体】 ・◎芸西村伝承館製糖組合 ・◎集落活動センターいせい ・芸西村 ・生産者グループ 江戸時代から引き継がれてきた芸西村の白玉糖(黒糖)の品質を向上させ、白玉糖を活用した新商品の開発や販路拡大、商品の磨き上げを行うことにより、認知度の向上と地域活性化につなげる。	伝承館でのサトウキビ取扱量	32.9t	42.0t	44.0t	1 白玉糖の品質及び認知度の向上 ・関西万博での白玉糖加工品販売(8/23) →白玉糖の知名度の向上に寄与 ・ホームページ作成のため、よろず支援拠点のアドバイザーに相談(5/30、6/20) →年度内の運用開始を目指し、高知県集落活動センター推進事業費補助金を申請中 2 白玉糖を使った特産品づくりと外商活動 ・食のイノベーション商品づくりワーキングでブラッシュアップした商品の販売【5月以降】 ・集落活動センターいせいの加工品販売のためのECサイトの作成、販売【R8.2月以降継続販売】 ・加工品のパッケージデザインの検討【～5月】	1 白玉糖の品質及び認知度の向上 ・関西万博での白玉糖加工品販売(8/23) →白玉糖の知名度の向上に寄与 ・ホームページ作成のため、よろず支援拠点のアドバイザーに相談(5/30、6/20) →年度内の運用開始を目指し、高知県集落活動センター推進事業費補助金を申請中 2 白玉糖を使った特産品づくりと外商活動 ・昨年度食のイノベーションで検討した加工品の新パッケージデザインを印刷(5月) ・食のイノベーション「初めての外商講座」参加(6/5) →販路拡大に向け、県外の卸業者を介して商談中 ・集落活動センターいせいの白玉糖を使った加工品販売のためのECサイトの検討 →2月販売開始を目指し準備中 ・パンフレット作成のため、よろず支援拠点のアドバイザーに相談(7/3) →年度内完成を目指し、準備中	- (R8.2月以降に集計・公表)	-	(成果) ・白玉糖を使った加工品販売のためのECサイトの作成に取り組んでおり、年度内に販売を開始する。 (課題) ・高齢化等によるサトウキビの生産者の減少 ・体験プログラムの認知度向上 (今後の方向性) ・放棄されたサトウキビ畑の活用を検討 ・地元中学校での体験プログラムを実施予定	
			体験プログラム参加人数	12人	130人	200人			0人 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：0.0% ・対前年同期比：0.0%	D		
			白玉糖加工品販売額(集落活動センターいせい)	356万円	165万円	180万円			105万円 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：190.9% ・対前年同期比：97.1%	S		
			40.4t (R4)									
			142万円 (R4)									

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
林業	4	馬路の林業加工品の販売促進 (馬路村) 【実施主体】 ・◎(株)エコアス馬路村 ・◎馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 販路の拡大や新商品の開発、生産性の高い加工機械の導入等により木材や木製品の販売を促進し、事業体の雇用の確保と経営の安定化を図る。	木製品 出荷額 (会計年度 4月～3月 「(株)エコアス馬路村、馬路林材加工協同組合」 (会計年度 1月～12月 「馬路村森林組合」) 2.53億円 (R4)	1.59億円	2.53億円	2.53億円	1 営業力の強化 ①販路の開拓 ・ウェブサイトの更新等 (林材・工コ) ・ホームページの開設等 (森組) ②新商品開発 ・デザイナーを活用した新商品開発及び既存商品の改良等 (工コ) 2 収益性の改善 ①加工機器の導入 ・老朽化した加工機器の導入を検討 (森組) ・商品の量産化に向けた、マシン等の導入を検討 (工コ) ②経営体質の強化 ・経営コンサルの活用と固定費の削減による経営体質を強化 (林材)	1 営業力の強化 ①販路の開拓 ・ウェブサイトの更新等 →海外(台湾)との継続取引、新たにキャンプサイトの宿泊棟等の取引 (R8.2月～) →海外販売の検討(海外販売支援サービスの活用) ・ホームページの開設等 →担い手対策とあわせたホームページの開設による情報発信の強化 (林業労働環境改善事業費補助金(9月～R8.3月)) ②新商品開発 ・デザイナーを活用した新商品開発及び既存商品の改良等 →新商品のうちを3種類デザイン化 2 収益性の改善 ①加工機器の導入 ・老朽化した加工機器の更新を検討 ・商品の量産化に向けた、マシン等の新規導入を検討 ②経営体質の強化 ・経営コンサルの活用と固定費の削減による経営体質の強化 ・経営コンサルによるモニタリング(予定：10月～11月)	0.37億円 (R7.4月～6月) ・R7到達目標達成率：58.5% ・対前年同期比：128.4%	D	(成果) ・海外(台湾)向け別荘棟の継続した取引案件に加え、新たにキャンプサイトの宿泊棟(5棟)、シャワー室、管理棟を受注し、取引先の維持と関係強化を図った。(林材) ・県内出身の書家に新商品のうちを3種類のデザイン制作を発注したことにより、高知新港へ寄港するクルーズ船乗客を対象に販売できる見込みとなった。(工コ) (課題) ・公共予算にかかる状況変化により、木製品の受注件数及び見積件数ともに減少(森組) (今後の方向性) ・公共事業関連ではパートナー企業と連携し、新たな工法について検討を進めるとともに、新たにホームページを開設し、木材・木製品(土木用資材)の情報発信を強化 また、地域県産材利用推進会議を開催し、公共土木工事における木材利用促進について、関係者と意識を共有(森組) ・公園整備のリニューアルに取り組む市町村向けに、木製品の情報を発信(森組)
		雇用者数 (加工部門) 21人 (R4)	20人	21人	22人	20人 (R7.6月末時点) ・R7到達目標達成率：95.2% ・対前年同期比：100.0%	B				

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
水産業	5	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町) 【実施主体】 漁業者： ・◎(株)美阿丸 ・土佐室戸鮭軍団 ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 水産加工業者： ・◎(有)タカシン水産(佐喜浜工場) ・◎(有)山本かまぼこ店 ・漁師の食卓 ・(株)岡水産 芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。	漁業者による加工品販売額	809万円	500万円	700万円	1 漁業者による加工品の製造販売 【新商品の開発やネット販売による販路拡大】 <<(株)美阿丸>> ・販路開拓の体制強化 【加工場における製造・販売体制の確立】 <<(株)美阿丸>> ・地元及び自社内での原魚調達による加工品製造の強化 ・適切な衛生管理の運用【通年】 ・小規模事業者を対象とした販路開拓 【水産物のPR】 <土佐室戸鮭軍団> ・「マグロ解体ショー」やマグロ加工品の販売等による広報	1 漁業者による加工品の製造販売 【新商品の開発やネット販売による販路拡大】 <<(株)美阿丸>> ・ECサイトに店出し、本マグロやチャンジャを販売 【加工場における製造・販売体制の確立】 <<(株)美阿丸>> ・マグロを用いた新商品開発の取り組み 【水産物のPR】 <土佐室戸鮭軍団> ・活動に向けて準備中	※6月末実績確認中	-	(成果) ・ECサイトへの出店を継続し、商品数を充実させることで販売額の増加に寄与している。 (課題) ・新商品の開発 ・販路開拓の継続 (今後の方向性) ・試作品づくりの継続 ・商談会の参加や広報活動に向けた取り組み
			水産加工業者の販売額	2.0億円	2.6億円	3.0億円	2 水産加工業者による加工品の製造販売 【生産性の向上と販路拡大】 <<(有)タカシン水産>> ・衛生管理体制強化に向けた新加工場整備・移設に関する検討 ・積極的な人材募集の継続【通年】 ・新商品開発、販路拡大【通年】 <<(有)山本かまぼこ店>> ・ペットフード製造のための加工場整備 国事業再構築補助金【10月稼働を予定】 ・県内事業者とのペットフード商品開発 ・衛生管理体制強化に向けた新加工場整備に関する検討 ・商談会等への出展【通年】 【施設整備】 <<(株)岡水産>> ・市場ニーズに対応した多機能な加工場の整備	2 水産加工業者による加工品の製造販売 【生産性の向上と販路拡大】 <<(有)タカシン水産>> ・新商品開発に向けた継続的な取り組み ・人材募集に向けた継続的な取り組み <<(有)山本かまぼこ店>> ・R6年度に着工したペットフード加工場は、建築確認が終了(8月)→10月末に機器類を整備し、工場を稼働する予定 ・インドネシアでの商談会に出展 【施設整備】 <<(株)岡水産>> ・東洋町起業支援事業費補助金を活用し、加工場整備計画のブラッシュアップに着手(7月～)	0.25億円 (R7.4月～5月) ・R7到達目標達成率：58.5% ・対前年同期比：79.8%	D	(成果) ・(有)山本かまぼこ店の加工施設整備(ペットフード加工場)が進展し、新たな取り組みとして、販売額の増加が期待できる。 (課題) ・不漁による加工原魚の不足 ・(有)タカシン水産佐喜浜工場における人手不足 (今後の方向性) ・(株)岡水産の加工場整備に向けた取り組み →高知県産業振興アドバイザー制度を活用し、県内水産加工施設の視察を実施(9月初旬) →12月までに事業計画を作成し、2月に産振補助金審査会を予定

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	R7取り組み状況	【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
商 工 業	7	安芸市中心市街地の活性化 (安芸市) 【実施主体】 ・◎安芸商工会議所 ・安芸本町商店街振興組合 ・安芸市 ・For the Future にぎわいと活力のある中心市街地を目指し、地域内外から人が集まる仕組みづくりや中心市街地の魅力を高める取り組みを進めることで商店街や周辺地域の活性化を図る。	空き店舗等を活用した新規開業	4件	1件	5件 (R6～9累計)	1 中心市街地のにぎわい創出に向けた取り組み ・第2期振興計画に基づく取り組み実施【通年】 ・第2期振興計画の進捗状況の確認及び見直し【通年】 ・商い甲子園の集客力及び経済波及効果の向上に向けた検討【通年】 ・HPやSNS等を利用した情報発信【通年】 2 空き店舗等を活用した新規開業の促進に向けた取り組み ・空き店舗等情報の収集・提供の継続【通年】 3 推進体制の強化に向けた取り組み ・事業者等連携強化に向けた市内事業者等の交流会等の継続【通年】 ・個店の連携による中心市街地及び周辺地域の周遊促進・消費拡大【通年】 ・第2期振興計画に基づく取り組みの各実施主体の人材育成【通年】	1 中心市街地のにぎわい創出に向けた取り組み ・中心商店街と周辺地域の活性化を図るため、以下の取り組みを実施 ①安芸市中心商店街等振興協議会が安芸高校へ感謝状を贈呈(5/1) ②商い甲子園実行委員会協議を実施：3回 ③高校生マルシェ出店：1回(8/15) ④安芸商工会議所青年部、安芸本町商店街ビアガーデン開催(8/2) ⑤市役所旧庁舎跡地活用に係る地域事業者との意見交換会(8/19) →商店街エリアのにぎわいにつながった。 2 空き店舗等を活用した新規開業の促進に向けた取り組み ・空き店舗バンクを開設し、運用している。【通年】 3 推進体制の強化に向けた取り組み ・包括連携協定を締結(安芸市・安芸商工会議所、4/24) →各機関で取り組む方向性について確認 ・市内事業者等の情報交換・交流の場「たまり場」実施：3回 →週2回、菓子小売業が開業(4/16～) ・商店街等事業者交流会開催：1回(4/2) →事業者等の有意義な情報交換等による連携強化 ・商工会議所や金融機関、法人会等の共催によるセミナーの開催：4回(参加者：63人(延べ人数))	1件 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：100.0% ・対前年同期比：100.0%	A (成果) ・「たまり場」で子どもの遊び場や駄菓子を買うことのできる場所の開店を検討したことにより、既存店舗の軒先を借りて、週2回開店する菓子小売店が開業し、子どもや大人も含めた地域交流の場の創出につながった。(4/16～) ・安芸商工会議所青年部や安芸本町商店街によるビアガーデンや高校生マルシェを開催したことにより、商店街のにぎわいにつながった。 (課題) ・イベント開催の広報の強化 (今後の方向性) ・「たまり場」等を活用したイベント開催周知の強化	
			事業者数 95店舗 (R4)	94店舗	95店舗	95店舗			- (R8.6月以降に集計・公表)		-

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	8	道の駅東洋町を拠点とした地域 振興 (東洋町) 【実施主体】 ・◎東洋町 ・◎指定管理者 (株)FoundingBase) ・生産者 ・地域団体 高知県の東の玄関口である東 洋町の観光の窓口及び地元特産 品の販売、飲食施設等の機能を 持つ「道の駅東洋町」を核とした交 流人口の拡大により、地域の活性 化を図る。	売上高	1.86億円 (R4)	2.54億円	2.60億円	3.25億円	1 誘客の促進 ・店内レイアウトの工夫【通年】 ・イベントの実施・誘致【通年】 ・SNSを活用した情報発信【通年】 ・町内外イベントへの出店 ・特産品の直販所交流による道の駅東洋町の PR ・店舗内商品の充実【通年】 ・直販所交流商談会への参加 2 観光機能の強化 ・グランピング施設の整備【3月末予定】 ・自然休養村の改修【3月末予定】 ・体験プログラムの検討【通年】 ・地域団体との連携【通年】 ・SNSを活用した情報発信【通年】	1 誘客の促進 ・店内クイズラリーの実施 ・季節に応じたイベントの実施(通年) ・県内の道の駅へのイベント出店やオリジナル商品の委託販売 ・オリジナル商品の開発(産振アドバイザー制度を活用)(7月～) ・既存オリジナル商品の常温販売に向けた取り組みの実施 ・レストラン新メニューの提供 2 観光機能の強化 ・グランピング施設の設置場所の再検討 ・キャンプ宿泊者に対してヨガ体験やビーチホッピング利用券の提供を 実施 ・キャンプ料金の改定 ・BBQの食材オプションの充実	0.65億円 (R7.4月～6月)	A	(成果) ・既存オリジナル商品の常温販売が可能となり、売上高の増加に 寄与している。 ・体験メニューが充実したことにより、キャンプ宿泊者が49名増加した。 (課題) ・繁忙期の人員不足 (今後の方向性) ・SNSを活用した人員募集 ・産振アドバイザーを活用した新しいオリジナル商品の販売
			来場者数	169,520人 (R4)	187,248人	193,000人	200,000人			47,914人 (R7.4月～6月)		

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	9	なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進 (奈半利町) 【実施主体】 ・◎(一社)なはりの郷 ・◎奈半利町 ・奈半利なんでも市加工グループ ・NCL48 ・加領郷フィッシャリーズ ・JA高知県(安芸地区) ・なはり浦の会 集落活動センターなはりの郷が中心となり、地域食材を活用した特産品の開発・販売を促進して地産外商を強化するとともに、海浜センターや地域資源(生活体験学校等)を活用した体験型観光を推進することにより、交流人口の拡大を図る。	物産館無花果の売上高	3,973万円	4,395万円	5,000万円	1 地産外商体制の強化 ・イチジクの加工品開発【4月～】 ・商談会等への参加 ・販売戦略の策定【9月～】 ・物産館無花果のリニューアルの検討【9月～】 2 一次産業の振興 ・研修生の確保、育成 ・特産品生産体制の構築 3 体験型観光の推進 ・廃校を活用した宿泊、自然体験メニューの開発、運営手法、販売戦略を検討 ・観光窓口としての物産館の在り方の検討【9月～】 ・地域おこし協力隊制度を活用した人材確保の仕組みづくり	1 地産外商体制の強化 ・新たな加工品の方向性について協議(農山漁村発イノベーションサポートセンター事業の活用) →試作品を5種製造(8月) ・リニューアルに伴う基本計画策定(産振補助金(ステップアップ事業)) →プロポーザルを実施し契約事業者決定(8月) 2 一次産業の振興 ・移住フェアへ参加し、研修制度を広報(6月) →相談実績：22組29人 →お試し移住実績：1人 3 体験型観光の推進 ・PFIを生かした加領郷小学校閉校跡施設の公共施設等運営事業 →R7年度PFI事業にかかる実施方針の策定見通しを公表(7月) →公募型プロポーザルの募集開始(8月～) ・物産館無花果リニューアルに伴う基本計画策定(産振補助金(ステップアップ事業)) →プロポーザルを実施し契約事業者決定(8月)	1,108万円 (R7.4月～6月)	A	(成果) ・農山漁村発イノベーションサポートセンター事業の活用による新加工品の試作を通じ、物産館無花果も独自でカフェメニューを拡充したり、イチジクの加工品(ドライイチジク)を開発する等、経営意識の醸成に寄与している。 (課題) ・新加工品のPR、出口戦略の検討 ・顧客の分析、ターゲットの設定 ・加領郷フィッシャリーズが魚舎直売所から撤退 (今後の方向性) ・物産館無花果のリニューアルと併せた新加工品の情報発信の強化 ・魚舎直売所の活用を検討	
			農水産加工施設の店舗売上高	4,578万円	2,398万円	2,600万円			1,328万円 (R7.4月～6月)			S
			JA加工施設(奈半利味噌)の売上高	852万円	895万円	930万円			211万円 (R7.4月～7月)			C
			奈半利町観光入込数	52千人	53千人	55千人			14千人 (R7.4月～6月)			A

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
商 工 業	10	道の駅「田野駅」の機能強化 に向けた取り組み (田野町) 【実施主体】 ・◎道の駅指定管理者(たの未来 プロジェクト(株)) ・◎田野町 ・加工施設指定管理者(中芸食 材工房) ・生産者組織 ・地域団体 地域の特産品の販売や、観光 情報の発信等の役割を担っている 田野駅において、「阿南安芸自 動車道」の整備を見据え、田野駅 が観光の目的地や、道路利用 者にとって安芸以東の地域におけ る安心して休憩できる場となるよう 再整備を行う。 再整備にあたっては、令和5年 度に策定した基本計画を元に、観 光客や道路利用者だけでなく、 地域のあらゆる世代が活躍する舞 台となる地域拠点や地域コミュニ ティを目指していく。	店舗売上高 会計年度 1月～12月 2.7億円 (R4)	2.8億円	3.0億円	3.3億円	1 機能強化のための施設等整備 ・PFIアドバイザーとともにPFI導入の検討 2 直販・飲食機能及び運営体制の強化 ・出品事業者ヒアリング及び運営事業者の選定 3 加工品の開発・販売の強化 ・事業承継支援制度の紹介【通年】 4 情報発信機能の強化・交流人口の拡大 ・交流人口拡大のための地域イベントの検討	1 機能強化のための施設等整備 ・アドバイザーとの協議：2回(4月～8月) →サウンディングに向けて方向性等を決定 →サウンディング実施(9月) 2 直販・飲食機能及び運営体制の強化 3 加工品の開発・販売の強化 ・事業承継支援制度の広報を実施 4 情報発信機能の強化・交流人口の拡大	1.2億円 (R7.1月～5月) ・R7到達目標達成率：96.0% ・対前年同期比：105.9% 99千人 (R7.1月～5月) ・R7到達目標達成率：88.0% ・対前年同期比：102.5%	B B	(成果) ・町長交代により、再整備の方向性を大幅に変更する必要があった が、アドバイザーとの協議も重ね、意思統一を図ることができた。 (課題) ・再整備の規模の検討 (今後の方向性) ・運営事業者の候補となる事業者との協議(サウンディング)を行い、 施設規模等を検討

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
										R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
商 工 業	11	やすだ資源を生かした新商品開発による地産外販の推進 (安田町) 【実施主体】 ・◎安田町 ・生産者 ・製造販売者 安田町内の地域資源を生かした新商品開発に取り組み、販路開拓・拡大による地産外販を推進する。	加工事業 参入事業者 0件 (R4)	1件	1件	3件 (R6～9累計)	1 地域資源を生かした加工品の製造・販売 ・原材料確保のための仕組みづくり検討【通年】 ・「安田の白い夢」製造再開のための試作開始【秋以降】 2 新商品開発に向けた新たな地域資源の掘り起こし ・安田町内の作物生産者の紹介【通年】 ・安田町産の作物を活用した新商品開発の着手【4月以降】	1 地域資源を生かした加工品の製造・販売 ・加工事業者が安田町へ移住・加工開始(4月) →製造・販売に着手 ・原材料確保(地域の生産者へ挨拶) →取引成立：2件(完全天日塩、酪農) ・「マンゴー大福」 →マンゴーの収穫に伴い試作開始予定(秋以降) 2 新商品開発に向けた新たな地域資源の掘り起こし ・集落活動センターやすだとの協議 (集活が栽培する水稲の収穫後、品質を見て契約協議予定) ・やすだ資源を生かした新商品の誕生：2件 (1)完全天日塩を使った「あんぱたーずさんど」 (2)牛乳を使った「米粉のしふおんけーき」	1件 (R7.4月～8月) ・R7到達目標達成率： 100.0% ・対前年同期比：100.0%	A	(成果) ・加工事業者が安田町へ移住し、商品加工を開始したことにより、やすだ資源を生かした新商品の製造・販売につながった。 (課題) ・新商品の開発におけるコスト(原材料の仕入れ、商品試作、パッケージ製作等様々な工程を要するため) (今後の方向性) ・新商品開発件数の継続的な目標達成に向け、コストを踏まえた開発を継続するためのより良い生産者・加工業者・役場の連携体制を検討	
			地域資源を活用した 新商品開発 0件 (R4)	0件	2件	6件 (R6～9累計)			2件 (R7.4月～8月) ・R7到達目標達成率： 100.0% ・対前年同期比：200.0%			
商 工 業	12	地場産品直販所「かつば市」を核とした地域活性化 (芸西村) 【実施主体】 ・◎(有)かつば市 ・芸西村 ・生産者グループ 地場産品直販所「かつば市」において、安定供給の仕組みを作るとともに、他の直販所との商品交流や、魅力的な商品づくりに取り組むことにより、地場産品の消費拡大を進め、地域経済の活性化につなげる。	かつば市 売上高 1.62億円 (R4)	1.72億円	1.88億円	2.07億円	1 魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み ・顧客のニーズの聞き取り【通年】 ・連続テレビ小説「あんぱん」のロケ地である琴ヶ浜海岸を訪れる観光客に、かつば市へ足を伸ばしてもらおう方法の検討、実行 2 品揃えの充実及び外販活動 ・商品増加のため、家庭菜園をしている方への呼びかけの継続【通年】 ・ふるさと納税返礼品準備のための作業場拡充【年度内】 ・調理設備を活用したい人の発掘【通年】	1 魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み ・顧客の動線等を考えた配置換えを実施(5月中下旬) →木工品等手仕事品の売上げ増(対前年同期比：111%) ・連続テレビ小説「あんぱん」のロケ地である琴ヶ浜海岸を訪れる観光客に、かつば市へ足を伸ばしてもらおう方法の検討 →観光客の周遊促進につなげるため、デジタルスタンプラリーを実施(9月～12月) 2 品揃えの充実及び外販活動 ・商品増加のため、家庭菜園をしている方等への声かけ →新規納品者の増加 ・ふるさと納税返礼品準備のための作業場拡充準備 →12月頃工事開始、年度内完成予定	0.71億円 (R7.4月～8月) ・R7到達目標達成率：90.6% ・対前年同期比：98.6%	B	(成果) ・連続テレビ小説「あんぱん」にあわせ、観光パンフレット置き場を拡充させ、周辺観光への誘導につながった。 ・商品棚の配置換えにより、木工品等手仕事品がまとまった配置になり、売上げが増加した。 (課題) ・調理設備の活用日数の増加 ・ふるさと納税返礼品準備のための作業場が狭く非効率 (今後の方向性) ・調理設備を使うことができることを広く周知させるため、チラシを作成 ・ふるさと納税返礼品準備のための作業場の拡充を実施	
			シェアキッチン を活用した 商品の数 2品 (R4)	2品	4品	5品 (R6～9累計)			2品 (R7.4月～8月) ・R7到達目標達成率：50.0% ・対前年同期比：100.0%			

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	13	安芸地域の観光振興の推進 (安芸地域全域) 【実施主体】 ・◎(一社)高知県東部観光協議会 ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 広域観光組織の基盤を整備し、情報発信、体験プログラムの磨き上げ、教育旅行の受入れ等を行うとともに、歴史や食、自然の組み合わせによる観光クラスターの整備を推進することで、安芸地域外からの誘客を増加させて地域経済の活性化を図る。	観光入込数 会計年度 1月～12月 1,882,480 人 (R4)	1,853,127 人	2,429,018 人	2,429,018 人	1 ひがしこうち魅力創出の推進 ・「どっぷり高知旅キャンペーン」と連動した取り組みとして商品造成支援の継続【通年】 具体的には、体験プログラムの開発等、旅行商品の造成や磨き上げに対し、補助対象を拡大しつつ支援を継続 ・国の事業を活用して引き続き“ひがしこうち”ゆずツーリズムの推進を図り、造成した商品の販売を促進【通年】 ・ペットツーリズムの推進として、協議会のHP等で紹介しているペットメニューの拡大、新たな事業者の掘り起こしを推進【通年】 2 効果的な情報発信とセールスの強化 ・大阪・関西万博における県催事及び関西圏で開催されるイベントへ積極的に出展し、県外へのPRを推進 ・WEB・SNSやデジタルメディア、アナログメディアを活用した継続的な情報発信【通年】	1 ひがしこうち魅力創出の推進 ・体験型観光の推進 →旅行受入事業 ①一般旅行受入：3件 ②教育旅行受入：中学校9校(うち体験のみ8校、民泊1校) →補助対象となる体験プログラムの造成等の募集開始(4月～) ①高知県東部旅行商品開発促進事業費補助金 3件交付決定 ・滞在型観光の推進 →貸切バス助成の募集開始(4月～) ①高知県東部地域周遊旅行貸切バス助成 25件交付決定 ②高知県東部地域修学旅行誘致助成 9件交付決定 ③高知県東部旅行会社視察調査助成 1件交付決定 ・地元食材を活かした食観光の推進 →①日本一の「ゆず」の香りと里山文化に包まれる 宿泊・体験・食を深く楽しむ滞在型スローツーリズム事業(観光庁「地域観光魅力向上事業(販売型)」の活用) ・二次募集 採択(8/18交付決定済) 2 効果的な情報発信とセールスの強化 ・WEB・SNS等を活用した情報発信の強化 →HP、SNSによる情報発信：98件 ・県内・着地側での情報発信の強化(※県外での取り組み含む) →高知県観光説明会等への参加 6回 ①4/22東京、6/5福岡、9/2東京、9/10大阪 ②7/29学校向け説明会 ③8/18教育旅行モニター商談会(高知市) →独自セールスの実施 4回 ①4/23東京、6/6福岡、9/3東京、9/11大阪 →イベント出展による情報発信等 5回、8日間 ①手づくり登り窯フェスタ in つつじ祭り(4/20、安芸市) ②ウエスタンリーグ公式戦(4/27、安芸市) ③長居植物園×高知県マルシェ(5/17～18、大阪市) ④KITTE大阪 どっぷり高知旅イベント(5/24～25、大阪市) ⑤EXPO2025 高知の祭典 WORLD YOSAKOI DAY (8/22～23、大阪市) →デジタルメディア(テレビ、新聞、ラジオ、雑誌等)を活用したPR ①観光情報誌「るぶFREE高知」での広告掲載 (YouTuberを招聘した動画投稿含む) →アナログメディア(テレビ、新聞、ラジオ、雑誌等)を活用したPR ①道頓堀屋外サイネージ「トンボリステーション」での動画放映(4/6～R8.1/11) ②LMAGA MOOK高知への広告掲載(6月) ③中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会との連携による協賛CM放送(7月～9月) ④第72回よさこい祭り中央公園会場LEDビジョンでの動画放映(8/9～12) →販促物(ガイドブック等)を活用したPR ①ひがしこうちmine：豊浜SAへの配架(4月～) ②香香柚子：豊浜SAへの配架(4月～)	1,053,059人 (R7.1月～7月) ・R7到達目標達成率：74.3% ・対前年同期比：96.9%	C	(成果) ・体験型観光の推進として、6年ぶりとなる民泊による教育旅行の受入れにより、地域との交流機会が創出された。令和8年度の受入予定はないが、今後も受入家庭の維持・増加に向けて取り組む。 ・イベント出展による情報発信について、計画どおり2つの地域でのイベント(安芸市、大阪市)に出展し、県内外へのPRにつながった。 ・HPのPV数は対前年同期比で83.3%、Instagramのフォロワー増加数の対前年同期比は72.5%、増加率は141.7%となっており、イベントやSNS等での情報発信の成果によるものと考えられる。 ※参考【Instagramフォロワー数実績】 ・R6.4～R6.9の増加数754人 R6.9末時点フォロワー数3,650人 ・R7.4～R7.9の増加数547人 R7.9末時点フォロワー数5,172人 (課題) ・メルキュールでの宿泊や物産館等の入込は好調だが、一方で山間部の観光施設やアウトドア施設は観光入込数が伸び悩み ・高知東部自動車道の延伸により交通の利便性が向上する一方で高知市内からの日帰り観光が容易になり、安芸地域内での周遊性が低下 ・団体旅行受入可能な大型宿泊施設の減少に伴い圏内宿泊者数が伸び悩み (今後の方向性) ・団体旅行の獲得に向けたセールスや貸切バス助成の継続 ・個人旅行の着実な受入れ、宿泊者増につなげるため、新たな旅行ニーズの掘り起こしと商品造成(ゆずツーリズム等)を進め、大阪・関西万博等、主要マーケットでのPRを積極的に実施 ・デジタル観光マップ「ものトーふナビ」を活用した、市町村が行う周遊CPと連動した域内の周遊促進(宿泊プラン販売等) ・インフルエンサーを起用したSNS等での観光スポットやグルメ情報などユーザーに寄り添った継続的な情報発信 ・ゲストハウスや貸切宿の利用促進に向けた学習会の開催(四国南東部広域観光連携協議会事業) ・「あんぱん」関連の企画展等、県の施策と連動した誘客拡大
			圏内宿泊者数 会計年度 1月～12月 142,884人 (R4)	134,537人	172,038人	172,038人	91,327人 (R7.1月～7月) ・R7到達目標達成率：91.0% ・対前年同期比：137.5% ※7月末時点では「B」だが、第4四半期は閑散期に入り、通期での評価は「C」が見込まれる。	C			

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】		
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
		圏内観光消費額 会計年度 1月～12月 3,248,435 千円 (R4)	3,599,498 千円	4,162,326 千円	4,245,118 千円	3 下支えする基盤整備の推進 ・連続テレビ小説「あんぱん」を誘客の追い風とできるよう、物部川エリアと連携してデジタルマップを活用した周遊キャンペーンの実施【通年】	3 下支えする基盤整備の推進 ・マーケティング機能の強化 →来訪者満足度調査(WEBアンケート)の実施・分析(4月～) アンケート設置箇所：24箇所 アンケート回収数：314件 (イベント出展によるデータ収集を含む) →観光客の受入れに対する住民満足度・意識度アンケートの実施・分析(4月～) エリア内イベント出展によるデータ収集：69件 →デジタル観光マップ「ものごとバナビ」の活用 ①ごめん・なはり線を巡るデジタルスタンプラリー(R7.4～R8.3) ②芸西村を巡るデジタルスタンプラリー(9/1～12/31) ③安芸市観光デジタルスタンプラリー(10/1～2/28) ④季節の花の見頃情報や夏祭り、花火大会等のイベント情報を掲載 →市町村観光担当課長会・担当者会 4/9 第1回担当者会 5/20 第1回担当課長会議 8/6 第2回担当課長会議 ・広域観光の推進 →四国南東部広域観光連携協議会への参画により県境を越えた一体的な観光施策を展開 ①四国南東部観光MAPの増刷 ②アムバック、トートバックの製作 ③大阪・関西万博への共同出展(8/12～13、大阪市) ④阿佐海岸鉄道DMV奈半利特別運行イベントへの出展(8/26、奈半利町) ⑤地域学習会の開催(10/15、牟岐町) ・受入環境の整備 →公式HP(多言語)のページ更新 英語・繁体語それぞれ5件更新済み →エリアコンディションレポートのフィードバック R6.10月～R7.2月分をフィードバック済み	2,299,556千円 (R7.1月～7月) ・R7到達目標達成率：94.7% ・対前年同期比：117.5%	B	※現時点の消費額はR6単価にR7入込数を乗じた参考値でありR7調査結果により変動する。	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
										R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	14	<p>日本遺産を活用した中芸地域の活性化 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>【実施主体】 ・◎中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会 ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道を保存・活用する会</p> <p>日本遺産認定を受けた魚梁瀬森林鉄道遺産やゆずロード等を活用し、中芸地域のインバウンドを含めた交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。</p>	中芸地域 主要施設 訪問者数	525,906人 (R4)	507,647人	559,000人	570,000人	<p>1 日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆずロードミュージアムの年間を通した土日開館の検討【通年】 拠点施設の方針検討【通年】 ガイド会員の技術力向上のための講座実施【5回(6月～12月)】 ゆずFeSやゆず収穫・搾汁体験等の体験内容の磨き上げ【ゆずFes：14プログラム(9月～11月)】 台湾向けミニツアーや観光商品のプロモーション 新たなパンフレット作成やSNS活用、地域内外のイベント出展等による情報発信【通年】 日本遺産フェスティバル開催地域への視察【1回(10月)】 日本遺産フェスティバル開催案の検討【通年】 <p>2 協議会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局と中芸5町村の連携意識の更なる醸成【通年】 地域商社もしくはDMO設立の検討【通年】 	<p>1 日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間(7/13～8/31)のゆずロードミュージアム毎日開館 →累計207名来館(8/18時点) ガイド養成講座：2回(6/7、6/28) →延べ10名受講 日本遺産ガイド：6回 →計97名受入(7月末) 中芸高校の生徒を対象に日本遺産の遺構等を散策するフィールドワーク：1回(6/12) →31名参加 ゆずどりんてつガイド会フェスティバル：1回(5/24) →延べ39名参加 第12回ゆずFeSの準備 →14プログラムを実施 夏休み子ども向け企画(8/17) →16名参加 <p>2 協議会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局内定例ミーティング(週1) →連携体制の強化につながった。 町村担当者会(月1) →日本遺産ウォーキングイベントについて、各町村ごとにルートを検討・協議をしたことにより他町村との連携につながった。 幹事会(副町長級)の開催(5/14) 総会の開催(5/29) 	<p>190,039人 (R7.4月～7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7到達目標達成率：102.0% ・対前年同期比：101.1% 	A	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例ミーティングの実施等により、交流人口の拡大に向けた「夏休み子ども向け企画」が新たに立案・実施される等、中芸地域の訪問者数の増加につながっている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内へ人を呼び込むための仕組みづくり <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客及び観光消費拡大に向け、台湾人インバウンド客を誘致するための旅行商品の開発及び台湾での販売 ・誘客及び観光消費拡大のための仕組みとしての、「協議会、中芸各町村、地域事業者の連携」や、「協議会の地域商社化またはDMO設立」を検討するため、文化庁日本遺産アドバイザーを活用

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	R7取り組み状況	【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	15	<p>室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市)</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎室戸市 ○(一社)室戸市観光協会 室戸ジオパーク推進協議会 (株)日本ドルフィンセンター NPO法人日本ウミガメ協議会 土佐備長炭窯元炭玄 スカイアンドシー・ムロト (株)East水産 民間事業者 <p>世界ジオパークに認定された室戸ジオパークやむろと廃校水族館、海の駅とろむ等の観光資源の魅力度を高めるとともに、室戸市が有する自然や文化、施設等の「ウエルネス資源」を生かした持続可能な周遊・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大を図る。</p>	<p>室戸市 主要施設 訪問者数</p> <p>集計期間： 1月～12月</p> <p>505千人 (R4)</p>	465千人	850千人	900千人	<p>1 観光資源の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設の磨き上げ 室戸岬観光拠点施設の改修工事【R8.1以降】 むろと廃校水族館の改修工事 シレストむろとの修繕工事 <p>2 ウエルネスツーリズム・サステナブルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験プログラム、体験ツアーの造成、情報発信【通年】 <p>3 お土産品の開発・販売拡大による外貨獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> お土産品の販売、販路拡大及びブラッシュアップ【通年】 	<p>1 観光資源の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 室戸市宿泊施設調査 →株式会社リクルートへ委託して実施中 室戸市宿泊施設魅力化支援事業費補助金により施設の改修を補助 市内周遊を促すキャンペーンを検討中 室戸岬観光拠点施設の改修工事 →8月入札、9月議会で諮る。 むろと廃校水族館の取水管の工事実施 シレストむろとが機械故障により5月から臨時休業 →再開に向けた協議・予算化 <p>2 ウエルネスツーリズム・サステナブルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 周遊コースの策定及びモニターツアーの実施 <p>3 お土産品の開発・販売拡大による外貨獲得</p> <p><株式会社East水産></p> <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度を活用し「室戸のおもたせ開発・発掘プロジェクト」を実施 高知県アンテナショップ・高知空港合同商談会(6月)への参加 →3商品ともまるごと高知での取り扱いが決定 (金目鯛の干物、伊勢海老出汁の炊き込みご飯の素、目鯛の生ハム) 高知県産品商談会(10月)、スーパーマーケットトレードショー(2月)へ参加予定 新フレーバーの開発を検討 	<p>217千人 (R7.1月～6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7到達目標達成率：51.1% ・対前年同期比：93.5% 	D	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度(株)East水産で作った新商品(金目鯛の干物、目鯛の生ハム、伊勢エビの炊き込みご飯)のまるごと高知での取り扱いが決定した。 ・産振アドバイザー制度の活用により、事業者の営業力が向上した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の不足 ・室戸岬の観光施設における滞在時間の延長 ・むろと廃校水族館、室戸世界ジオパークセンターのさらなる魅力化 ・ウエルネスツーリズムのPR不足 ・お土産品の不足 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の磨き上げ ・室戸岬観光拠点施設の整備 ・むろと廃校水族館の改修 ・シレストむろとの修繕に係る検討 ・ウエルネスツーリズムに関する情報発信強化 ・「室戸のおもたせ開発・発掘プロジェクト」を通じたお土産品の開発、販売強化
		<p>ウエルネス関連の体験プログラム造成及び磨き上げ数</p> <p>-</p>	6件 (R6)	10件 (R6～7累計)	20件 (R6～9累計)	<p>6件 (R6.4月～R7.8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7到達目標達成率：60.0% ・対前年同期比：0% 	D				

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率	110%以上
A	数値目標の達成率	100%以上110%未満
B	数値目標の達成率	85%以上100%未満
C	数値目標の達成率	70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率	70%未満
-	達成度の判断が困難なもの	

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
										R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	16	安芸市のユズ、ナス等の地域食材や観光資源を活用した交流・関係人口の拡大 (安芸市) 【実施主体】 ・◎安芸市 ・◎(一社)安芸市観光協会 ・安芸漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA高知県(安芸地区) ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廓中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん丼」楽会 ・道の駅大山 ・安芸商工会議所 ・「はばたけ彌太郎」安芸市推進委員会 ・For the Future ・地元加工業者・加工グループ・飲食店 既存の観光資源の磨き上げや自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの造成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により、地域ブランド力及び観光客の満足度の向上を図り、交流・関係人口の拡大及び観光関連産業の活性化につなげる。	市内年間観光客数	196,409人	215,000人	300,000人	1 生産量日本一の作物であるユズ、ナス等を活用した交流・関係人口の拡大に向けた取り組み ・援農隊実施、観光・交流事業の企画 ・関係人口の拡大に向けたPR、ふるさと納税の強化 ・地域食材を活用したメニューや商品の開発・磨き上げ・PR ・道の駅大山・観光情報センター・ちばさん市場の連携促進、商品開発・販売促進 2 観光資源の魅力向上への取り組み ・自然や歴史を活用した既存の体感体験プログラムの磨き上げ、新たなプログラムの造成 ・道の駅大山周辺の観光振興計画の推進 ・滞在時間延長に向けた市内周遊促進の仕組みづくり ・連続テレビ小説と連携した観光施策の推進 ・定期的な魅力発信(イベントの企画・開催)	1 生産量日本一の作物であるユズ、ナス等を活用した交流・関係人口の拡大に向けた取り組み ・高知県アンテナショップ高知空港合同商談会参加(2者、6/9) →県外アンテナショップでの販売が可能 ・ふるさと納税者に対する定期的なメールによる情報発信(移住・観光・返礼品の紹介)を開始(R7.8月～) →関係人口の拡大 ・ふるさと納税事務を新たに民間事業者へ委託(R7.7月～) →専門的ノウハウを活用した返礼品開発やPR戦略等による、地場産品の魅力向上と地域産業の活性化 ・道の駅大山・観光情報センター・ちばさん市場の連携継続 →互いに取り扱いのない商品を補い合う、相互連携の関係	51,142人 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：71.4% ・対前年同期比：75.3% ※7月末時点では「C」だが、8月以降のイベントやプロ野球の秋季キャンプ等、観光客の入り込みが期待できる。	B (成果) ・昨年度から引き続き、道の駅大山・観光情報センター・ちばさん市場の連携が継続したことにより、売上や客単価の増加に寄与している。 ・訪日外国人向けに歴史や伝統芸能に触れることのできる新たな体験プログラムを造成し、より印象に残る体験を提供することで、リピーターの増加につながっている。 (課題) ・SNS等を利用した情報発信の強化 (今後の方向性) ・SNSの定期的な発信を行うことによる誘客拡大		
			市内年間宿泊者数	26,676人	30,000人	30,000人			2 観光資源の魅力向上への取り組み ・どっぶり高知旅観光プログラムの造成に向けた協議実施：4回 →内原野陶芸館及び内原野公園周遊ツアーを造成 →赤野獅子舞ツアーを造成 ・伊尾木漁港 海業検討会実施(7/2) ・滞在型観光推進計画事業支援事業に係る協議(6/10、8/8) ・新たにSNSによるイベント情報発信(8/14～)		7,577人 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：75.8% ・対前年同期比：100.5% ※7月末時点では「C」だが、8月以降のイベントやプロ野球の秋季キャンプ等、観光客の入り込みが期待できる。	B
			加工品開発数	7件	1件	5件 (R6～9累計)					1件 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：100.0% ・対前年同期比：50.0%	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
										R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	17	東洋町における体験型・滞在型観光の推進 (東洋町、室戸市) 【実施主体】 ・◎(一社)東洋町観光振興協会 ・◎東洋町 ・地元マリンスポーツ等関係事業者 ・宿泊事業者 ・阿佐海岸鉄道(株) ・東洋町商工会 ・(一社)高知県東部観光協議会 ・室戸市 ・地域団体 サーフィンやダイビングを中心としたマリンスポーツやDMV(デュアル・モード・ビーグル)、野根川といった地域資源を生かした体験型観光メニューの充実、周遊プランの造成等、観光客の受入体制の強化に取り組むことにより、滞在時間の延長及び誘客促進を図る。	体験者数	5,767人	5,600人	5,800人	1 受入体制の強化 ・既存体験プログラムの磨き上げの検討 ・新規体験プログラムの造成 ・ビーチホッピングの開催【7月～】 ・広報の強化【通年】 ・南四国アイランド活性化協議会への参加 ・東洋町納涼祭の実施【7月】 ・ビーチサッカーの開催【通年】 2 DMVを活用した観光振興 ・阿佐海岸鉄道および沿線市町村との連携 ・DMV駅弁の発売 3 野根川を活用した地域振興 ・野根川オートキャンプ場の管理・運営【通年】 ・SNS等を活用したPR【通年】 ・新たな地域資源の掘り起こし ・地域団体の活動支援【通年】 ・野根地区のコーディネーターの発掘 ・野根地区での耕作放棄地の解決に向けた取り組みの実施	1 受入体制の強化 ・ビーチサッカーの開催(6月) ・新たなビーチホッピング遊具の導入 ・ビーチホッピングの開催(7月～) ・ビーチホッピングのスタッフ雇用に向けた大阪体育大学への訪問 ・東洋町納涼祭の実施(7月) ・サーフィン大会の実施(8月) ・ブルーフラッグ認証取得に向けた取り組みの実施 2 DMVを活用した観光振興 ・DMV駅弁の発売(1月～) ・DMVイベントの開催(8月) 3 野根川を活用した地域振興 ・野根地区のミニ88カ所巡り体験商品の販売実施 ・野根地区のコーディネーターの発掘 →地域おこし協力隊の採用(4月～) ・野根地区での耕作放棄地の解決に向けた取り組みの実施 →中村地区と押野地区でコスモス畑の整備を実施(9月～) ・野根川あゆ祭りの開催(9月)	434人 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：23.3% ・対前年同期比：24.0% ※7月末時点では8月分のビーチホッピングの数値が入っていないため「D」となっているが、年度末には到達目標を達成できる見込みがたっている。	A (成果) ・大阪体育大学への訪問により、ビーチホッピングスタッフの雇用が生まれた。 ・野根地区のコーディネーター候補者として、地域おこし協力隊を採用することができた。 (課題) ・ブルーフラッグ認証取得のための資金調達 (今後の方向性) ・ブルーフラッグ認証取得を目指し、国や県の補助金活用を検討		
			東洋町 主要施設訪問者数	277,784人	300,000人	320,000人	94,473人 (R7.4月～7月) ・R7到達目標達成率：94.5% ・対前年同期比：88.4% ※7月末時点では8月分のビーチホッピングの数値が入っていないため「B」となっているが、年度末には到達目標を達成できる見込みがたっている。					

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	18	<p>安田川アユおどる清流キャンプ場における交流人口の拡大による地域の活性化 (安田町)</p> <p>【実施主体】 ・◎指定管理者((有)ダディースオピニオン) ・◎安田町</p> <p>安田町の自然・体験型観光の拠点施設であるキャンプ場において、安田川をはじめとする地域資源を活用したアクティビティの強化や季節毎に特色あるイベントの開催、情報発信等を行い、安田川ファンの拡大を図るほか、キャンプ場利用者の周辺施設への誘客や地域食材の活用を推進し、交流人口の拡大と地域活性化につなげる。</p>	キャンプ場 利用者数 7,607人 (R4)	4,941人	7,000人	7,000人	<p>1 キャンプ場の磨き上げ ・スタッフ及びアルバイトの育成によるさらなる顧客サービスの向上【通年】 ・地域食材販売に向けた仕組みづくり検討【通年】</p> <p>2 安田川ファン拡大に向けた仕組みづくり ・新たなイベントの企画実施、既存イベントの継続実施【通年】 ・イベント実施等の連携可能な町内外の事業者の発掘【通年】 ・SNSを活用した継続的な情報発信【通年】</p>	<p>1 キャンプ場の磨き上げ ・繁忙期におけるスタッフ増員 →ヘルプスタッフ3名及びアルバイト4名のローテーション ・土佐あかうし焼肉セットの販売(R5.8月から) →10セット販売(7月末) ・子供用プールの設置等、サービス品質向上に向けた取組を実施 →利用者の満足度向上につながった。</p> <p>2 安田川ファン拡大に向けた仕組みづくり ・安田川での釣りイベント(随時) →50名参加(7月末時点) ・町外事業者との連携による木工ワークショップ：3回 →15組参加(7月末時点) ・Instagramの定期的な投稿 →145件(4月～7月)</p>	<p>1,480人 (R7.4月～7月)</p> <p>・R7到達目標達成率：63.4% ・対前年同期比：94.1%</p>	D	<p>(成果) ・繁忙期のスタッフ確保や、子供用プールの設置等のサービス品質向上、周辺事業者と連携したイベントの実施、定期的なSNSにおける情報発信等により、新たな顧客の獲得に寄与している。</p> <p>(課題) ・新型コロナウイルスの5類移行に伴うキャンプ場の衰退により利用者数が減少傾向 ・キャンプ場の多くの利用者から「中芸」を初めて知ったとの声が寄せられる等、知名度の向上 ・キャンセル料金を徴収しない規定であることに伴い、天候や自己都合によるキャンセルが多く収入の機会損失が発生</p> <p>(今後の方向性) ・利用者数の増加に向けて、魅力的なサービスの提供、イベント等の開催を継続・強化し、利用者のレポート率を高め、またその取り組みをSNSで発信し新規層へアプローチを実施 ・「中芸」の知名度向上を図るための、大規模アウトドアイベントの開催に向けた検討 ・キャンセル料金徴収開始に向けた、他のキャンプ場の情報収集</p>

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	19	<p>北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大 (北川村)</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(株)きたがわジャルダン ○北川村 北川村観光協会 ・NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会 ・北川村北部地区「いこいの里」の会 <p>北川村「モネの庭」マルモッタン、北川村温泉、中岡慎太郎関連施設及び北部地区いこいの里に関する情報発信の強化や、施設間の連携、体験メニューの実施等に取り組むことにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。</p>	3施設合計 入園(館)者 数	111,589人	105,600人	111,000人	<p>1 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を用いた情報発信やイベント等への出店によるPRの継続【通年】 ・研修会への参加やアドバイザーの活用検討 <p>2 運営体制の強化と施設の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けてふるさとワーキングホリデー等の活用を検討 (北川村温泉での実施調整予定) ・モネの庭修繕計画の実施 <p>3 周遊の仕組みづくりと体験観光の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業(モネの庭25周年)の計画・実施(モネの庭25周年記念グッズ販売、記念イベント等)【通年】 ・施設間の連携 ・体験メニューの検討・造成 	<p>1 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した定期的な情報発信 →出店イベントや村内施設情報を随時更新 →観光公社職員による定期投稿を開始(R7.4~) ・長居植物園「EXPOよさこい2025×高知県マルシェ」出展(5/17~18) ・「高知フードトリップ〜乾杯！土佐宴会開宴〜」出展(6/18~23) <p>2 運営体制の強化と施設の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)北川村文化観光公社の運営開始(4/1) ・北川村温泉 ワーキングホリデー実施(7/1~R8.3/31) ・モネの庭を拠点とした文化観光推進事業(文化庁)の認定(8/8) <p>3 周遊の仕組みづくりと体験観光の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モネの庭 25周年開園記念日(4/19) ・モネの庭 25周年写真集出版記念写真展(4/19~5/31) ・モネの庭 新チーフガーデナーと巡る季節のガイドツアー ～開園25周年特別企画～(年4回)の実施 ・モネの庭 「きたがわモネさん」ラッピング車両お披露目式(6/19) ・モネの庭 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合を通じた宿泊者入園引換券割引の導入(R7.4~) ・中岡慎太郎館 モネの庭半券キャンペーン(R7.5~) ・中岡慎太郎生誕祭(4/13) ・いこいの里 苔玉づくり体験 →利用者数 2組(R7.7時点) ・北川村温泉 レンタサイクル →利用台数 4台(R7.7時点) ・北川村ゆずグルメリー実施予定(R7.9/1~11/30) 	<p>75,956人 (R7.4月~9月)</p> <p>・R7到達目標達成率： 143.9% ・対前年同期比：103.2%</p> <p>※9月末時点では「S」だが、12月~2月はモネ休園のため、年度末にかけ少し減少する見込みである。</p>	A	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モネの庭では25周年記念企画が複数実施され、開園記念日を含む4月とプレミアムシーズンの5月において前年同月比より入園者数が増加した。 ・村内施設の半券キャンペーンやグルメリーの実施等、周遊の取り組みが実施されており、交流人口の増加への寄与が見込まれる。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の人材確保 ・施設間連携の強化 ・記念事業にて増加した交流人口の維持・拡大 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングホリデーの継続実施 ・周遊事業イベントの実施及び磨き上げ ・各種企画やイベントを活かした情報発信

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				R7計画	R7取り組み状況	【C(Check)】・【A(Action)】		
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標			現時点の進捗状況		
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析
観光	20	自然や歴史・文化を活用した山と暮らす馬路村の観光振興 (馬路村) 【実施主体】 ・◎馬路村 千本山や安田川等の自然資源、魚梁瀬森林鉄道や山村の暮らし等の歴史・文化を活用した観光コンテンツを開発し、既存の観光資源と連携した村内への誘客と観光消費額の拡大を図る。	観光客 入込数 会計年度 1月～12月 33,379人 (R4)	27,391人	37,159人	37,902人	1 受入体制の充実・強化 ・馬路村観光基本構想に基づく施設整備等の検討 ・観光情報等のDX化に向けた検討 ・ふるさとワーキングホリデーや特定地域づくり事業協同組合を活用した人材の確保 2 観光コンテンツの開発 ・馬路村観光基本構想に基づくスポーツフィッシングの実施に向けた検討 ・冬期釣りの実施に向けた特別採捕調査の実施 3 情報発信の強化 ・SNSを活用した情報発信 ・イベント会場での動画をを用いた観光PR【1回】	1 受入体制の充実・強化 ・馬路村観光基本構想に基づく施設整備等について住民を対象とする説明会の開催：3回 →関係団体から基本構想の進め方について意見をもらい、今後の展開の仕方について検討を実施 ・ふるさとワーキングホリデーを募集 →3名受入れ(温泉2名、キャンプ場1名(R7.7時点)) 2 観光コンテンツの開発 ・馬路村観光基本構想に基づくスポーツフィッシングの実施に向けた検討 →今年度アマゴの冬期キャッチ&リリースを解禁予定 3 情報発信の強化 ・YouTuberや芸能人による移住・観光PRの実施に向けて検討中 ・よさこい祭り中央公園演舞場で観光CMを放送し来場者に馬路村の観光をPR(8/10、8/11)	14,032人 (R7.1月～7月) ・R7到達目標達成率：64.7% ・対前年同期比：117.3%	D	(成果) ・ふるさとワーキングホリデーを活用し、繁忙期の観光施設の人員確保につながった。 ・よさこい祭りで観光CMを放送する取り組みによって観光客の馬路村の観光拠点施設である馬路温泉や観光資源である千本山等の認知につながった。 (課題) ・情報発信の強化 (今後の方向性) ・アマゴの冬期キャッチ&リリースの解禁 ・YouTuberや芸能人による移住・観光PRのさらなる推進
		主要販売 拠点売上高 会計年度 1月～12月 42,438千円 (R4)	47,104千円	50,031千円	53,074千円		23,199千円 (R7.1月～7月) ・R7到達目標達成率：79.4% ・対前年同期比：103.4%	C			

2 令和7年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費 (補助金額)
<p>■No. 9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>7/3 交付決定</p>	<p>・奈半利駅舎物産館「無花果」のリニューアルに向けた基本計画を作成する。</p> <p>市場・トレンド調査</p> <p>販売計画・収支計画作成</p> <p>ゾーニング図作成</p> <p>町内周遊プラン作成</p>	<p>3,989</p> <p>(1,964)</p>